

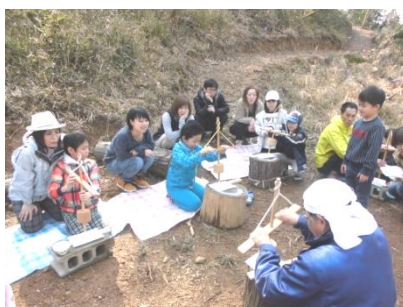
福井ふるさと学びの森 若狭エリア 第6回体験イベント 「里山で小さな春（あったか）を探そう！」

- 1 日時 平成28年2月28日（日）13：30～16：00
- 2 場所 福井ふるさと学びの森（若狭町気山）
- 3 参加者 小学生親子等21名
- 4 内容

(1) 火おこしに挑戦

ふるさと研究員の萩原さんや NPO 森林楽校森んこのみなさんに教えていただきながら、火おこし機を使って火おこしに挑戦しました。

参加者達は始めは火おこし機がうまく動かせませんでした。だんだんと上手く動かせるようになっていきました。



説明を聞く参加者



火おこしに挑戦

当日は朝から晴天でポカポカ陽気。一生懸命に火おこし機を動かしていると汗が出てくる程でした。

火おこし機を素早く動かしてしばらくすると、うっすら煙が出て火だねができます。火だねをおが屑に入れて火をおこしますが、うまく息を吹かないと火はつきません。



うっすら煙が出ています。



火種を消さないよう、丁寧に息を吹いています。

何回か失敗しながら挑戦していくと、突然ポッと火がつき、鮮やかに火がつく様子に、参加者から歓声が沸きます。



ポッと火がつけました。



悪戦苦闘の跡。火がついた時は感激です。

(2) 餅焼きとぜんざい作り

参加者がおこした火を使ってお餅を焼き、ぜんざいを作ります。
自分達でおこした火での料理は感激もひとしおのようです。



ちゃんと窯にも火が入りました。



いい感じにお餅が焼けています。

(3) 小さな春(あつたか)を探そう！

ぜんざいが出来上がるまで、森を歩いて春を感じるものを探します。

家族ごとに紙を渡し、「ふわふわしたもの」、「きらきらしたもの」、「生きもの」、「あ
あ春だなあって感じること」、「びっくりするもの」を見つけてもらいました。



春を感じるもの探しに出発です。



何の種かな。落ち葉の下で芽を出し始めていました。

森から戻った後、ふりかえりとして、森でみつけたものを発表してもらいました。
「春を感じること」として、新芽や虫といったものの他に、「近くを流れる川の音」
といった発表もありました。

できあがったぜんざいを食べながら、最後のふりかえりです。参加者の印象に残
っていたのはやはり火おこし体験で、なかなか着かなかった火が着いた事が一番楽
しかったという感想が多くありました。

多めに作ってあったぜんざいも、4回おかわりしたという参加者もあり、全部お
いしくいただきました。



ふりかえりの様子



出来上がったぜんざいを美味しく
いただきます。